

湖南流域環境保全協議会活動報告

湖南流域環境保全協議会は、平成13年8月に設立され、草津市、守山市、栗東市、野洲市において水環境の保全を目的に、NPO、環境団体等と行政が協力し活動する団体です。

「環境問題に関心はあるが、何をすればいいのか」と思っておられる方は、ぜひご加入ください。



問い合わせ先 南部振興局環境森林整備課内
電話077-567-5444
FAX077-564-1733
eメール:de40@pref.shiga.lg.jp

以下に平成19年度の活動内容をご紹介します。

☆総会・理事会開催

総会および第1回理事会は、4月18日南部振興局で開催され、事業計画等が決議されました。

また、新たに、草津塾、伯母Q五郎、こどもネットワークセンター天気村から理事が就任くださいました。

第2回理事会は7月19日に開催され、事業実施についての詳細報告がなされました。

☆ほたるウオッチング

5月26日(土)19:00~21:00

NPO環境を考える会(代表 菅谷多美子氏)が主催し、野洲市富波甲自治会館で、ほたるの生態、ホタルの生息する川の条件を学習したあと、中ノ池川でほたるを観察しました。地元自治会長さんから昔は川がよく氾濫したことや、湧水ももらっていた水の融通の話、環境保全と地元意見のバランスをとることの難しさなどをおうかがいしました。

参加者は39名。



富波甲自治会館での学習



中の池川でのホタル観察

☆妓王井川ホテル調査 6月20日

野洲駅前自治会の要請を受け、荒井紀子氏（千丈川蛍保存会）を招き、妓王井川のほたる減少原因調査、今後の取り組みを教わりました。



ホテルのいるポイントです。

☆身近な水環境の全国一斉調査

実施日 6月3日（基準日） 参加者 32名

参加団体等 NPOびわこ豊穰の郷

草津塾

環境文化推進市民会議

栗東市生活環境課

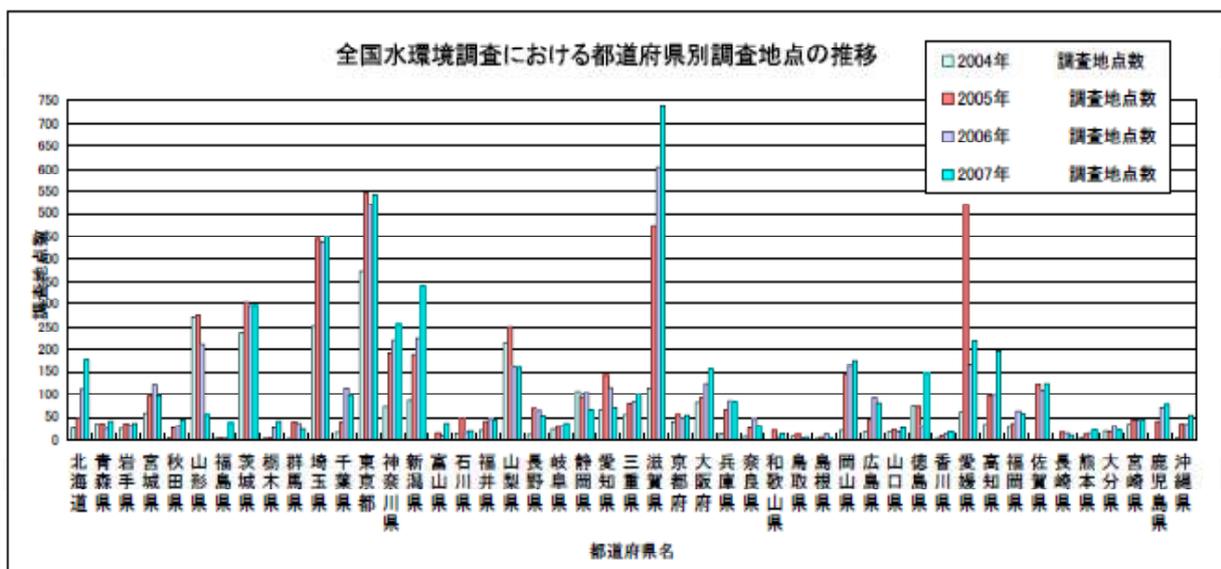
NPO環境を考える会

琵琶湖の水と地域の環境を守る会

(株)グリーンちゅうず

環境アドバイザー 片山啓介氏

南部振興局環境森林整備課



※滋賀県では、流域協議会が参加した第2回（2005年）から調査地点は増加し、環境県らしく本年は調査地点数で全国一位となりました。

湖南地域においては、連続定点観測を80カ所実施しています。

☆ヨシ再生「三方ヨシ作戦」



6月21日ヨシの学習



7月10日ヨシのポット苗づくり

野洲市中主の菖蒲浜にヨシを再生しようとする事業で、中主小学校5年生120名にヨシについての知識を学んでもらい、校庭の池でヨシ苗を育ててもらいました。

教育、市民、行政が協働し、琵琶湖のあるべき姿を取り戻そうとする計画です。

☆ヨシ植えイベント共催

12月1日（土）9：30～12：00

独立行政法人 水資源機構の協力で、消波堤設置、湖岸の整備がされ、12月1日に、野洲市主催の「ヨシ植えイベント」が開催されました。

独立行政法人水資源機構、菖蒲自治会、中主漁協、近江鉄道、野洲市と連携し、県民の皆様とともにヨシ植栽、チップ利用の遊歩道整備、ヨシ工作教室を開催しました。



ヨシ植栽



ヨシ工作

☆樹名板設置

中主小学校の道路向かいにある二之宮神社境内に植樹された木々の樹名板を環境学習の一環として30枚設置しました。

☆琵琶湖流域ネットワーク委員会総会

6月29日（金）16：00から草津市立まちづくりセンターで、琵琶湖流域ネットワーク委員会の総会が開催され、琵琶湖一周調査隊、研修の結果報告、収支決算、事業計画が決議されました。

☆琵琶湖一周調査隊



平成17年度から、琵琶湖流域ネットワーク委員会が主催し、県下各流域環境保全協議会が協力して、COD、窒素、リンの水質調査と感覚調査を実施しています。

湖南流域環境保全協議会は、草津市・守山市・野洲市の湖岸27箇所を調査しました。

今年は、あやめ浜まつりと同時実施し、立命館守山高校の生徒が8人参加してくださいました。

滋賀県全体では231カ所が調査され、参加者は277名となりました。

☆河川見て歩き

7月21日(土)

環境文化推進市民会議と共催し、河川環境学習を実施しました。

午前中は、琵琶湖一周調査隊として湖岸の水質調査等を行う予定でしたが、不安定な天候であったため、調査を中止し、琵琶湖博物館で、琵琶湖についての学習を行いました。

天候回復により、午後は予定どおりに伊佐々川での魚つかみや、エコかるた、エコ紙芝居をしました。

参加者45名



☆第2回あやめ浜まつり

8月20日(月)



- ・ 琵琶湖一周調査隊
- ・ しじみつかみ取り
- ・ 湖魚食
- ・ 沖島クルージング

琵琶湖の水と地域の環境を守る会(代表松沢松治氏)が主催し、地元自治会とも連携して、琵琶湖の環境を考え、琵琶湖に親しむために実施されました。

参加者は200名を超える盛況でした。



湖魚を味わう昼食風景



高校生の調査結果まとめ



全員で清掃活動

☆こなん環境シンポジウム

参加者 105名

10月6日（土）南部振興局が琵琶湖博物館、滋賀県学習支援センターと開催したシンポジウムに共催しました。

桜の第一人者である造園家 佐野藤右衛門氏の記念講演「自然と生きる」、滋賀県立大学の井手教授がコーディネーターとなり「環境と地域力」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

記念講演では、姥桜は段々、風格を増していくもので、大事にしていかなければならない等々佐野氏の軽妙で本質を突くお話があり、パネルディスカッションでは、今までの環境活動の検証が必要であり、未来に向かっての協働のシステムづくりなどについて議論されました。

現代の桜守 佐野 藤右衛門氏



会場風景



↓ 写真左からパネリスト

甲賀流域会長 池田 賢三氏
環境を考える会代表 菅谷 多美子氏
愛知産業大学大学院教授 延藤 安弘氏



写真左： コーディネーター
滋賀県立大学教授 井手 慎司氏

写真右： パネリスト
滋賀県琵琶湖環境部長 山仲 善彰氏



☆湖南・甲賀の環境活動展



展示団体数 24団体
来場者 500名(推定)

10月1日～10月6日
「こなん環境シンポジウム」とともに
広く環境活動を知ってもらい、参加し
てもらおうとの目的で活動パネルが展
示されました。



☆地球温暖化防止フェア in 草津



10月5日～7日烏丸半島芝生広場で草
津市主催の地球温暖化防止フェアが開催さ
れました。

南部振興局からも「みずすまし協議会」、
「環境体験ルート」が出展されました。

写真は、「森の食器づくり」で間伐材を
利用した木のお皿づくりを指導する井上重
一さんです。

☆里山保全（湖北自然観察）

10月27日(土)

環境文化推進市民会議が
主催し、西浅井町にある「山
門水源の森」を訪れ、里山保
全について、実地体験しまし
た。センプリの苦さやクロモジ
の心地よい香り、ヤブムラサキ
のソフトな感触などを感じるこ
とができました。

今回は、四季の森コースと湿
原往復コースの2班としまし
たが、健脚コースという全体を回
るコースもあります。参加者26名



☆ビオトープ体験学習

湖南流域環境保全協議会では、子どもを対象とした身近な地域のビオトープ（生物の棲む空間）を体験する事業に対し、助成金を交付しています。今年は次の3団体に交付しました。

①六条子ども野草観察会（代表 森田貞雄氏）

5月27日（日）野草について学習、採取し、調理しました。また、源氏ほたるの生息地を創るため河川清掃、川底の整地を行いました。

7月下旬には、旧野洲川北流河口および家棟川ビオトープを見学しました。



②ノースウインドジェネレートクラブ（代表 勝部竜二氏）

9月14日（金）常磐小学校4年生64人が、農薬を使用しない稲作、魚を放流しました。田んぼで子どもたちが田植えし、収穫、脱穀することで、環境配慮、環境保全の重要性を学習しました。

③草津でホタルを楽しむ会（代表 鈴木道弘氏）

草津市新堂町の浅池で、新堂町町内会の方々と、ビオトープづくりが行われました。藪に覆われていた浅池を整備し、水量確保のための導水パイプの設置や土手づくりを行い、ホタルの飛び交う親水公園とする計画です。

平成 19 年度湖南流域環境保全協議会活動一覧（実施日順）

月日	行事名称	実施場所	主催団体等	参加者数
5月26日（土）	ほたるウォッチング	野洲市中の池川	NPO環境を考える会	39名
6月3日（日）	身近な水環境の全国一斉調査	湖南全域	流域協議会	17名
6月20日（水）	妓王井川ホタル調査	野洲市妓王井川	流域協議会	10名
6月21日（木）	ヨシ学習	野洲市立中主小学校	湖南流域保全協議会	120名
7月10日（火）	ヨシポットづくり	野洲市立中主小学校	流域協議会	120名
7月16日（月）	赤野井湾調査会	守山市赤野井湾	NPOびわこ豊穰の郷	113名
7月21日（土）	河川見て歩き	草津市伊佐々川	環境文化推進市民会議	45名
8月20日（月）	第2回あやめ浜まつり	野洲市あやめ浜	琵琶湖の水と地域の環境を考える会	200名
8月20日（月）	琵琶湖一周調査隊	湖南全域	湖南流域保全協議会	31名
10月6日（土）	こなん環境シンポジウム	草津市琵琶湖博物館	南部振興局	105名
10月27日（土）	湖北自然観察	西浅井町	環境文化推進市民会議	26名
12月1日（土）	ヨシ植えイベント	山門水源の森 野洲市あやめ浜	野洲市ほか	277名